

# 夏

季休業中に開催された全国高等学校定時制通信制体育大会。本校からは、3部（卓球部・ソフトテニス部・バドミントン部）より10名の生徒が出場しました。今号では大会の結果や滞在期間の様子についてご紹介します。

大分県立日田高等学校 定時制  
平成30年度 第4号

学校だより

## 希望理想使命

2018年(平成30年)9月3日発行

ソフトテニス部の坂本愉衣さん、衛藤綾乃さんペアは、8月10日の個人戦に出場しました。早起きしてホテルを7時に出発、8時からの公式練習に参加しました。日田高のユニフォームを着て少し緊張気味でしたが、25分間の練習を無事に終えました。1回戦は、岩手県代表の杜陵高等学校・通信制のペアと対戦しました。0-2とリードされてから第3ゲームでジュースを繰り返し、何度目かのアドバンテージでポイントして1-2に。次のゲームを奪われ1-3になるも、それから粘って2-3まで追いましたが、最後にサービスゲームを落とし2-4でゲームセット。緊張からか、最初に2ゲームを取られたことが悔やまれますが、粘り強く拾って打ち勝つ場面や、鋭いリターンエースなどが見られ、台風一過の炎天の下、大変よく頑張りました。

港区のホテルに宿泊した2人は、先生と一緒に東京ミッドタウンや東京タワーを訪れたそうです。ちょっと高価だったケーキの味はいかがだったでしょうか。



小田原市内のホテルに宿泊したバドミントン部のみなさんは、小田原城を訪れたり湘南の海を眺めたり、ちょっとした修学旅行気分を味わえたそうです。



# 卓

球部の5名は、8月7日、東京都世田谷区にある駒沢公園屋内球技場で開催された第51回卓球大会の男子個人戦と女子団体戦に参加しました。男子個人戦では、3年連続の出場となる守永将吾さんが試合に臨みました。長崎代表の川内さん（佐世保中央高）と対戦をしましたが、接戦の末、0-3で敗退しました。女子団体戦は、地元東京代表のNHK学園と対戦し、北野早希さん、蒲池まみさん、山下郁音さん、藤原亜希さんで臨みました。結果は、蒲池さんが1番目で勝利しましたが、1-3で敗退しました。東京の選手の迫力に圧倒さながらも、所々でいいプレイが見られ、最後まで一生懸命のプレイや応援をしている姿が印象的でした。



卓球部のみなさんは渋谷区のホテルに宿泊。自由時間には、生徒たちだけで原宿に出かけ、買い物を楽しんだそうです。欲しかったものが買えましたか？



# バ

ドミントン部の3名は、8月16日から4日間、神奈川県の小田原アリーナで開催された第20回大会に、大分県チームのメンバーとして爽風館高校の生徒たちと一緒に出場しました。女子団体1回戦は徳島県と対戦。爽風館高校の生徒と日隈美里さんがペアを組んで試合に臨み、2-1で見事勝利、続くシングルスも連勝して徳島県チームを圧倒しました。しかしながら、2回戦では東京都にダブルスでもシングルスでも勝利できずに0-3で敗れました。一方、男子チームは2回戦からの登場。野元孝通さん・藤井巧麻さんペアが、初めての全国大会の試合に臨みましたが、緊張のためか普段通りの息の合ったプレイが出来ないまま0-2で敗れてしまいました。続くシングルス1は勝利したものの、シングルス2が敗れ、富山県チームに昨年の雪辱を果たすことができませんでした。大分県チームの団体戦は2回戦敗退で終わりましたが、今年は両校の生徒たちが積極的に交流している様子が見られ、とても印象に残る大会となりました。（←記事は左へ続く）

